

第3回合志市硝酸性窒素削減計画策定委員会 会議録(要旨)

- I 日 時 令和8年3月17日(火) 午後1時30分～午後3時30分
- II 場 所 合志市役所 2階庁議室
- III 出席委員 川越保徳(会長)、金山武史(副会長)、松森 信、西本直徳、廣畑昌章、堀口太久、大塚勝己、合志義浩
- IV 代理出席 林 英明(山田芽水 委員の代理)、富永麟盛(坂本卓博 委員の代理)
- V 欠席委員 7名
- VI 傍聴者 4名
- VII 事務局 環境衛生課 中山課長補佐、黒田主事
- VIII 会議次第
- 1 開会
 - 2 会長挨拶
 - 3 議事
 - (1)合志市硝酸性窒素削減計画(素案)について(資料1、資料1-2)
 - (2)今後のスケジュールについて(資料2)
 - 4 その他
 - 5 閉会

会議録(要旨)

次第	発言者・答弁者	内容
1 開会	事務局	委員 15 名中 8 名が出席。過半数出席のため委員会成立。
2 会長挨拶	会長	(会長挨拶、その後会議の議長に就任)
3 議題 (1) 合志市硝酸性窒素削減計画(素案)について	事務局	(資料 1、資料 1-2 に沿って説明)
	委員	「資料 1 の 4 ページ 3 水道水質基準」に関して、計画の策定時期(令和 8 年 4 月以降)を考えると、水質基準の項目数が変わると思います。具体的には、来年度から PFAS が水質管理目標設定項目における健康関連項目から、水質基準における健康関連項目に引き上げられる予定です。
	事務局	承知しました。変更予定を踏まえ以下のとおり修正します。 水質基準に関する省令～により、 <u>51</u> 項目(健康関連 <u>31</u> 項目及び生活支障関連 20 項目)の水質基準が定められており →水質基準に関する省令～により、 <u>52</u> 項目(健康関連 <u>32</u> 項目及び生活支障関連 20 項目)の水質基準が定められており 又は検出レベル～という理由から <u>27</u> 項目(健康関連 <u>14</u> 項目+生活上支障関連 13 項目)を「水質管理目標設定項目」として位置づけ →又は検出レベル～という理由から <u>26</u> 項目(健康関連 <u>13</u> 項目+生活上支障関連 13 項目)を「水質管理目標設定項目」として位置づけ
	委員	「資料 1 の 8・9 ページ 2 配水池の硝酸性窒素濃度の現状」に関して、平均値で出すという説明でしたが、本文及び図の説明にある(傾向)という表現は(平均値)とした方が分かりやすいのではないのでしょうか。
	事務局	承知しました。以下のとおり修正します。 硝酸性窒素濃度(傾向)の推移 →硝酸性窒素濃度(平均値)の推移
	委員	「資料 1 の 3 ページ 2 硝酸性窒素の影響」に記載のある、「乳幼児のメトヘモグロビン血症は、1945 年に初めて報告されました。」について、この初報告はアメリカの事例ですので、その後に国内事例が続く現在の構成では、1945 年の事例も国内事例であると誤解を招く恐れがあります。そのため、「1945 年に初めて米国で報告されました。」と修正した方が良いと思います。
	事務局	承知しました。以下のとおり修正します。 乳幼児のメトヘモグロビン血症は、1945 年に初めて報告されました。 →乳幼児のメトヘモグロビン血症は、1945 年に初めて <u>米国</u> で報告されました。
	委員	今意見があった箇所以外のところも、出典はできる限り明記した方が良いと思います。資料 1-2 の図では、はっきり記載してありますので、計画にも同様に記載をした方が良いと思います。
	事務局	承知しました。他機関の資料等を活用した箇所については、出典を追記いたします。
	委員	「資料 1-2 の 7 ページ 3 取組目標の設定(施肥対策)」に関して、「 <u>土壌診断の結果に基づき必要に応じて適正施肥に関する助言等を行う</u> 」という表現に修正されていますが、下の表では、「 <u>土壌診断事業助成数</u> 」と「 <u>助言等実施数</u> 」が同じ数字になっています。診断結果を返すこと自体を助言とみなしており、それを「等」に含めているのであれば、「必要に応じて」という言葉は削除した方が整合性を取れるのではないのでしょうか。
	事務局	承知しました。以下のとおり修正します。 <u>土壌診断の結果に基づき必要に応じて適正施肥に関する助言等を行う</u> → <u>土壌診断の結果に基づく適正施肥に関する助言等を行う</u> 診断後には、 <u>審査機関が発行する計量証明書(図 4-2)に基づき、必要に応じて各営農者へ適正施肥に関する助言等を行っています。</u> → <u>診断後には、各営農者へ、審査機関が発行する計量証明書(図 4-2)に基づく適正施肥に関する助言等を行っています。</u>
委員	「資料 1-2 の 11 ページ 3 取組目標の設定(啓発対策)」に関して、新しく加えた対策①「 <u>地下水等に関する情報を広く、わかりやすく発信します。</u> 」	

会議録(要旨)

次第	発言者・答弁者	内容										
		に対する具体的な数値目標を指標に加えられないでしょうか。										
	事務局	指標に設定する内容は、「地下水に関する情報」というよりは、「硝酸性窒素に関する情報」という理解でよろしいでしょうか。地下水に関する情報は現在でも多く発信をしているため実績も多いです。ただ、今回初めて計画を策定する硝酸性窒素については情報発信が出来ていないため、今後開催する対策会議に関する議事録等を何らかの形で公開しますという意味であれば指標として設定しやすいと考えます。										
	委員	年 10 回やりますという目標ではなく、年 1 回、何らかの形で確実に情報を発信しますという目標があれば良いと思います。										
	事務局	承知しました。以下のとおり指標を追加します。										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>対象地域</th> <th>実績 (R6)</th> <th>目標 (R27)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対策会議に関する情報発信</td> <td>全域</td> <td>0 回/年</td> <td>1 回/年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標	対象地域	実績 (R6)	目標 (R27)	備考	対策会議に関する情報発信	全域	0 回/年	1 回/年	
指標	対象地域	実績 (R6)	目標 (R27)	備考								
対策会議に関する情報発信	全域	0 回/年	1 回/年									
	委員	「同ページの《対策の内容》①」に関して、関係機関と連携して対策を実施するため、「(各団体)」という表現を用いているものと推測しますが、実際に発信する主体は市だと思しますので、括弧書きの中は、市の担当課を記載した方が良いと思います。										
	事務局	承知しました。以下のとおり修正します。 地下水等に関する情報を広く、わかりやすく発信します。 <u>(各団体)</u> →地下水等に関する情報を広く、わかりやすく発信します。 <u>(環境衛生課)</u>										
	事務局	「資料 1 の 21 ページ (2) 委員会の構成」に関して、計画策定が令和 8 年度になるため、人事異動による委員の交代が予想されます。その際の表記として、年度ごとに分けて全ての委員を記載するのか、あるいは最終年度の委員のみを記載するのか、どの様に表記した方が良いか意見をいただければと思います。										
	会長	決まりはないと思いますので、全員記載した方が親切だと思います。後から見たときに、誰が計画策定に関わったのかをわかりやすくしておくことが大切だと考えます。										
	事務局	承知しました。2 ヶ年の間で本委員会の委員になっていただいた方皆さんを併記する形にしたいと思います。										
(2) 今後のスケジュールについて	事務局	(資料 2 に沿って説明)										
	委員	5、6 月の部会及び委員会について、今日の審議で計画の内容はほとんど固まったと思いますが、再度委員会を開く必要があるのでしょうか。										
	事務局	人事異動に伴う委員の交代を見据え、新任の委員が当事者意識を持って計画の内容を理解できるよう、説明の場を設けています。										
	会長	折衷案として、委員の交代がほとんどない場合は、今回の委員会で出た意見を計画に反映し、メール等で共有を行う。委員の交代が多い場合は、新任者への説明を含めた確認の場として委員会を開催するという対応にしたいと思います。										
4 その他	事務局	特になし。										
5 閉会	事務局	以上をもちまして、第 3 回合志市硝酸性窒素削減計画策定委員会を閉会します。皆様、本日はありがとうございました。										

(終了)